



アジア9カ国の大学生が環境問題について討議します

第11回「アジア学生交流環境フォーラム」をオンラインで開催

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社取締役代表執行役会長 以下 当財団）は、8月7日（月）から9日（水）の3日間、第11回「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP: Asian Students Environment Platform 以下本フォーラム）」をオンラインにて開催します。

本フォーラムはグローバルに活躍する環境分野の人材育成を目的とし、当財団と国連環境計画生物多様性事務局との合意に基づいて2012年から毎年実施されているものです。日本を含むアジア各国の大学生・大学院生が集い、各国の自然環境や歴史、文化、価値観の違いなどを学びながら環境問題について討議し提言を行うプログラムで、これまでに10カ国のべ763名の学生が参加しました。

10年間のプログラムの最終回となる今回は、9カ国9大学85名の学生に加えて過去の修了生10名がリモートで参加し、「REGENERATION ～Seedlings of ASEP～（新たな価値創造 ASEPからの芽生え）」をテーマに、国籍を超えて編成したチームで討議し、最終日に提言を行います。

また当フォーラムは、外務省の「日本ASEAN友好協力50周年」「日・カンボジア外交関係樹立70周年」「日・ベトナム外交関係樹立50周年」の記念事業として認定されています。

当財団は今後も環境教育をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

- 期 間： 8月7日（月）～9日（水）（オンライン開催）
- 主 催： 公益財団法人イオン環境財団
- 幹 事 校： 早稲田大学
- 参 加 校： 早稲田大学（日本）、清華大学（中国）、高麗大学校（韓国）
（参加年順） ベトナム国家大学ハノイ校（ベトナム）、マラヤ大学（マレーシア）
王立プノンペン大学（カンボジア）、インドネシア大学（インドネシア）
チュラロンコン大学（タイ）、フィリピン大学（フィリピン） 計9校
- 後 援： 外務省、環境省
- 出席者（予定）
開 講 式： 駐日ベトナム社会主義共和国 特命全権大使 ファム・クアン・ヒエウ閣下
早稲田大学 総長 田中 愛治 様
公益財団法人イオン環境財団 専務理事 山本 百合子
閉 講 式： 早稲田大学 副総長 / 社会科学総合学術院 社会学部教授 弦間 正彦 様
- 主なプログラム： 8月7日（月）開講式、基調講演、グループワーク
8月8日（火）講演、グループワーク
8月9日（水）成果発表、閉講式

以 上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【過去のアジア学生交流環境フォーラム（ASEP）】

回数	開催年	開催国	テーマ
第1回	2012年	日本	文化から環境を考える
第2回	2013年	韓国	環境と人間
第3回	2014年	中国	水と人
第4回	2015年	ベトナム	生物多様性と人
第5回	2016年	日本	生物多様性と叡智
第6回	2017年	日本	生物多様性と再生
第7回	2018年	マレーシア	熱帯雨林からの贈りもの
第8回	2019年	カンボジア	持続可能な平和構築
第9回	2021年	インドネシア（オンライン）	循環型社会の構築
第10回	2022年	日本（オンライン）	里山、私たちの未来のコモンズ



第1回（2012年 日本）



第4回（2015年 ベトナム）



第8回（2019年 カンボジア）



第10回（2022年 日本 オンライン）